

平成26年度女性まちづくり講座 まち・きらきらセミナー 第1回概要

日 時：平成26年5月30日（金）18：00～20：00

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ 第1、2会議室

参加者：別紙のとおり

1. 講師	NPO法人 あおもりNPOサポートセンター 理事長 田中 弘子 氏
2. テーマ	まち・きらきらセミナー ～出会う つながる 動き出す～
3. 内容	<p>◆まち・きらきらセミナーについて◆</p> <p>平成21年度から開催しており、今年で6回目。1年目、2年目は参加者が三沢の魅力話し合い、情報紙を作成。3年目は三沢の特産品を使ったレシピを作成し、広報紙や市HPに掲載。4年目は三沢の魅力を再発見ということで、各グループでテーマを決めて発表。5年目は三沢市の魅力をどう伝えるかを考え、「英語で料理教室」「温泉ツアー」「廣澤安任の紙芝居」の3つの企画を考えた。今年度は昨年度企画したものをぜひ実践するところまでいきたい。この活動を通して、みなさんのネットワークを広げていければと考えている。</p> <p>◆受講生自己紹介◆</p> <p>簡単に自己紹介をしていただいた。</p> <p>◆講師紹介◆</p> <p>弘前市において女性初の行政管理職として、中央公民館長・市民会館館長を務め、在職中より各種ボランティア活動に積極的に取り組み、まちづくりや人づくりのネットワークを推進している。また、きらきらセミナー第1弾、第4弾、第5弾の講師であり、今回は女性の視点を生かしたまちづくり、情報発信などについてご指導していただく。</p> <p>◆昨年度の発表◆</p> <p><斗南藩></p> <p>第4弾の時に廣澤安任と六十九種草堂を取り上げ、どうやって伝えるかを考えた。人形劇、紙芝居などいろいろな方法があるが、小学生がわかりやすいように紙芝居にしてはどうかということでストーリーを考え、小さい紙芝居を作成。実際に小学校等に出向いて読み聞かせをした。</p> <p><温泉イベント></p> <p>三沢には温泉がいっぱいあるが、知らない人が多い。三沢にしながら旅行気分を味わってみたいと思い、温泉と陶芸を組み合わせたツアーを企画。ぐるっとバスを利用して1回だけではなく、1年間通していろいろと企画していきたい。</p> <p><きらきらし隊（英語でレシピ）></p> <p>三沢といえば米軍基地、ごぼう、長いも、ほっき。三沢の名産品と英語のコラボレーションとして三沢のケーブルテレビを使った料理番組を作ったらおもしろいのでは？と思ったが、番組を作るのは大変難しく、料理教室を実施。昨年度1回実施した。作ったメニューは「三沢いなり」「キャロットパンケーキ」「ほっきスープ」。親子で楽しんでできた。材料費、会場費をまかなうのが大変だった。料理を作っていく中で、簡単な英単語を織り交ぜた。たくさんの笑顔が見ることができて良かった。</p>

◆提案事業の事例紹介◆

きらきらセミナー1回目から参加。市民活動のきっかけになった。大きな事業8つを紹介。鬼ごっこ大作戦、忍者修行大作戦（助成金約30万円使用）、浴衣の着付け講座、太極拳講座、高校生パフォーマンスライブ（助成金約40万円使用）、イクメン・カジダン育成事業（助成金約30万円使用）、まちづくり人材発掘事業（助成金約30万円使用）、ホッケーガイプロジェクト（助成金約50万円使用）。大きなお金がないとできないので助成金を申請して実施。

～三沢市まちづくり人材発掘事業（三沢市市民提案事業）について～

海老名保と木村乃の話を三沢市民に聞かせたいと思い、まちづくりに関する講演会をやると思った。講師料が1人10万円、交通費5万円、会場使用料、ポスター等たくさんお金がかかるため、助成金を申請。申請書類を作成し、決められた期日までに広報広聴課に提出。プレゼンを経て採択され、実施できた。まちづくりについての講話の後、第2部でワークショップを行った。6つのグループに分かれて、他市町村に自慢したい人、食べ物などを出し合った。三沢のヒーローをつくるなら？と提案したら、ホッケーガイというヒーローができあがった。大変有意義な事業であった。そして、完了報告書などを提出して提案事業終了となる。

自分の想いを大切にしていくと、人と人がつながり、活動がつながっていった。自分が動けば、周りがどんどん動いていくことを実感した。最後に、海老名さんが三沢のヒーローを作ってください、できたてホヤホヤのホッケーガイが実際に登場！みんなで記念撮影。



◆講話◆

～男女共同参画のまちづくりとは～

男女共同参画のまちづくりとは

- 男とか女とかにとらわれずに、誰もが持っている個性と能力を認め合い発揮できる生きやすい社会
- 結婚や出産についてどうしようと考えている人にやっぱり子供を産んで良かったなどと思われるような社会
- しょうがいのある人でも、地域で生きていかれる豊かな社会
- 私は私らしく、あなたはあなたらしく、自分を尊重して人とともに生きる力をつけていき自分の生き方は自分で決める社会
- 未来につながる子どもたちの人生がそんな人生である社会
- 家族の、特に異世代の理解を得るためにもコミュニケーション力をつけ、仕事や人間関係で困った時は、直球や緩急をつけるなど相手に合わせたキャッチボールの戦略方法を磨いている社会

女性が活躍している割に、決定権がある場所に女性がない。避難所を設営する上でも、女性の意見が大切。

～出会い・つながる 動きだすことを楽しく続けてきた～

出会い・つながる 動きだすことを楽しく続けてきた チャレンジのきっかけ

- 問題意識を常にもつことを大学で学ぶ
- PTA活動で戦略方法を学ぶ
- 福祉の仕事を通して「ケセラセラ、明日は明日の風が吹く」という切り替え方法を学ぶ（ストレスをためない）
- 女性職員自主研究グループ「うきうきクラブ」から、女性の視点は市民の視点であること学ぶ
- 教育委員会での社会教育の仕事で、ネットワークの大切さを学ぶ
- ボランティア活動やプロジェクトの仕事を通してNPOを学ぶ
- 国立女性教育会館で「NPO法人ウイン女性企画」との出会いから・つながり・動きだす
- 新たなチャレンジ「男女共同参画社会基本法」(平成11年6月制定)

問題意識をもつことが大切。PTA活動で、様々なことを学んだ。市民活動を行うときも、いろいろな考えがぶつかり合い、ストレスがたまる。しかし、ストレスをためず、切り替えることが大切。

～情報交換交流～ネットワークにつながる事例～

情報交換交流～ネットワークにつながる事例

- 1994年2月18日 「セミナー・ハンサムウーマン」発足
- 「ハンサムウーマン」とは
知的で社会に積極的に関わろうとする姿勢があり
自分の責任において行動し、何があっても
他人のせいにならない 潔い人たち！
- 設立目的
世代を超えて学び、出会ってつながって新しい人間関係をつむいでいき、各自が独自の活動を創りだしながら、地域活動をコラボレーションし、ネットワークという「ちからコブ」のスキルアップと社会貢献する仲間
の会である。
- 会員 現在72名登録(女性:54名・男性18名・20代～70代)
偶数月第3水曜日夜・20名～25名が集い・学び・情報交換
会場 会員経営の「カフェ・リエゾン」「インドリア」「どて箱」
(飲食OKの夕食3,000円)・謝礼なしOKのゲストに学ぶ！

セミナー・ハンサムウーマン発足。
多くの方を講師に招き、情報交換を行っている。

～セミナー・ハンサムウーマンの活動紹介～

セミナー・ハンサムウーマン 活動

- 2000年11月 日独草の根文化交流
名古屋の元NPO法人「ウイン女性企画」とのつながりから
北ドイツエカンフェルデ市へ、会員18人参加、津軽の民芸工芸展開催
- 2007年 8月 コラボレーション(協働)
文化庁委嘱事業(文化庁の助成金190万円活用)
「第3回文化ボランティア全国フォーラムin弘前」
- 2010年11月 東京タワー弘前りんごまつり
文化ボランティア全国フォーラム実行委員会～
六本木ホテルアイビス～東京タワーとつながる
- ・ 2011年8月・10月 岩手県災害支援拠点施設
遠野まごころネットへ届ける
弘前実業高校生作成のひばの枕(ハンサムウーマンのつながり)
- ・ 2013年8月～2014年3月 「つながれっとサロン」開催

セミナー・ハンサムウーマンで
様々な活動を行った。単独でやるの
ではなく、いろいろなつながりを持
ってやるのが大切。

～コーディネートについて～

2002年5月7日設立 事務所:弘前市

行政や各種団体・企業等とパートナーシップを保ちながら県内各地に構築した会員のネットワークを活かし、県民とともに男女共同参画社会づくりを推進することを目的としている。

概要

男女共同参画推進に特化したNPO法人としては県内唯一であり、青森県内はもとより全国と広くネットワークを構築し、地域活動に男女共同参画の視点を活かすということを目的に多様な活動を展開中である。

特に、社会的に影響力の大きいメディアに着目し、積極的に働きかけてメディアと協働し、新聞、市町村広報に記事を掲載。行政との協働で「つながれっとサロン」開催。

男女共同参画ネットワーク・津軽広域のコーディネートとしての役割は、県内の広域設立につながってきている。

男女共同参画まつりでワークショップを行った際、一般の方から相談があった。育児休業を取得し、自分が家事・育児をしていたが、いざ復職するとなると、夫が仕事人間なため、家事・育児が全て自分任せになりそうで自信がない。という内容。それをきっかけにアピオあおもりでしあわせ♥未来予想図という講座を開催。

～講座『しあわせ♥未来予想図』について～

表 講座『しあわせ♥未来予想図』の開催日とテーマ (2010年度)

*全体テーマ **母親である私が自分らしく生きるについて考える**

開催月日	テーマ(タイトル)	内 容	参加費枚
1 7月15日	幸せな未来のために一歩踏み出そう！～自分らしく生きるススメ～	現在の自分の状況をつつめてみる。幸せ、満足しているか？自分らしく生きていくか？	約50人
2 8月20日	夫や子どもと共に自分らしく生きる	自分らしく生きるとは？なぜ女性は自分らしく生きることが難しいのか？女らしさのジェンダー、社会的役割。	20人
3 9月23日	夫の言葉とつづきあう方々を考えよう～自分らしく生きるために～	多くの妻が悩んでいる夫の言とつづきあう、お互いを尊重するつづきあう方の一例について考える。	15人
4 10月14日	“子育てで”“ホントの自立に向けて”	子育ての目標は自立。子どもの自立を促すために大切なこと、愛情、子どもの自己を認める、子どもの自立と母親の自立。	18人
5 11月11日	私について考える～子どもも私も笑顔で生きる～	これまでの私を振り返り、これからの私(なりたい私)について考える。なりたい私に近づくためのヒント。	23人
6 12月9日	夫を愛する～家族改定計画～	人生のパートナーである夫について考える。これまでの夫との関係を再認識し作り直えるために必要なこと。	20人
特 2月7日	“再デビュー！”～私にもできる社会復帰～	夫や子どもと共に自分らしく生きるための社会参加、職業復帰のススメ。再デビューに向けてのヒント。	25人

お母さんたちがこの講座を通して、
悩みの解決につながっていった。そして
第2子、第3子を産む人が増えた。

～つながれつとサロンについて～

2013年8月～2014年3月
つながれつとサロン 開催

主催 NPO法人青森県男女共同参画研究所
セミナー・ハンサムウーマン
協力 文化ボランティア協会

(ヒロロスクエアコミュニケーションゾーン
運営協議会11団体で構成)
地域づくりのネットワークを進めるため
講演会&かたるベサロン

※ ヒロロスクエアコミュニケーションゾーン運営協議会
ヒロロの利活用の呼び水になるために、官民による協働の
運営協議会設置

倒産した建物を活用するために、官
民協働の運営協議会を設置し、ヒロロ
を運営。つながれつとサロンを開催。

～つながれつとサロンの活動～

①2013年8月29日(木)

10:30～講演・13:30～15:00 かたるベサロン

講演 官民協働による災害対応の可能性
～ よりよくなった災害救助法から学ぶ

講師 石井布紀子さん
(NPO法人NPO法人さくらネット代表理事)

②9月7日(土)

講演 山車や神輿はなぜ町を練り歩くのか

～ねぶた祭、よさこいソーラン、中井の染の小道は住民相互の交流～

講師 鈴木章生さん(目白大学社会学部地域社会学科教授)
弘前の街やねぶた祭が大好きで、何度も弘前を訪れている鈴木先生。今回は、祭の歴史を踏まえながら、江戸の町の祭りの様子から、よさこいソーラン、新宿区中井の「染の小道」などの新しいイベントまで取り上げて、武士と町人の交流の場であり、住民や親子のつながりを強め、美を競いながら観客に見せる都市祭礼を通じて、これからの祭りの可能性をお話してくださいました。著書「江戸の名所と都市文化」・共著「絵図に見る伊勢参り」BS-TBS「謎解き！江戸のススメ」出演

⑤26年 1月26日(日)

講演 「ベアテさんからの贈り物」
～日本国憲法第24条にこめられた日本女性への思い～

講師 青森県立保健大学教授 佐藤恵子さん
(25年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞)

日本国憲法第24条を知っていますか？
結婚・家族における男女平等と個人の尊重を明記したこの条文によって、戦前の家制度が廃止され、日本の女性たちに、父親・夫(男性)の支配から解放され、自由に生きる道が拓かれました。憲法の改定が現実のものとなりつつある今、この24条を起草したベアテ・シロタ・ゴードンさんの、日本の女性たちに対する熱い思いとエールをしっかりと受け止めて、祖母や母たちの時代を思いながら、一緒に考えてみました。

⑥ 2月8日(土)

講演 まち歩きは地図理解から～弘前の地図でまち歩き～

講師 澤内 隆さん(株)帝国書院地図指導アドバイザー・六本木探検隊

「まち歩きから地域活性化へ」「地図バッチリ(地理)の学び直し」をテーマに、全国を講演して、地図や地理理解に努める傍ら、全国の小学校へ地図帳の出前授業をしている専門家なので、地図とまち歩きの楽しみ方をトリアを交えながらわかりやすくお話してくれました。

③10月20日(日) 10:30～12:30・13:30～15:00

講演 子ども、若者(大学生)も大人も関わりながら育つ
～ 生きづらい社会だから～

講師 午前：市原悟子さん(社会福祉法人アム共同福祉会理事長・つばき共同保育園園長) 午後：山本健彦さん(和歌山大学長・中央教育審議会生涯学習分科会委員)
市原先生は、子どもだけでなく、「大人(親や保育者)も育つ保育園」という場づくりを通してニュータウンでのまちづくりにコミットする保育園経営を試み、山本先生は、「和歌山大学は、あなたの人生を応援します」という経営理念で地域とともに学生を育て、ヒトが育つ地域づくりにコミットする大学づくりを試みています。あらゆる場が、「生きづらさからの脱出を願ったお話でした。」

④11月17日(日)

講演 ブックトーク・ひとり家で死ぬますか？

講師 上野千鶴子さん(NPO法人WAN(ワイメンズアクションネットワーク)理事)
これから先、おひとりさまはますます増えることでしょう。そんなおひとりさまにも、在宅で死ぬる選択肢が登場してきたようです。たとえ血が繋がらなくても周囲の人たちを支えられていなければ孤独ではありませんから「在宅ひとり死」です。どうしたら在宅ひとり死が可能なのか、どんな条件があればよいのか、がんの場合は、老衰の場合は、ほけたらどうするのか、家族との関係は、お金はいくらあればよいのか…「おひとりさまの老後」を書かれた上野千鶴子さんのお話でした。

⑦ 3月16日(日)

講演 定年後は、10万時間も!? ～早目のこころ構えで人生充実～

講師 上輪満 孝志さん(市民活動グループ ウイ！エルダーマン代表)

夫の定年(60歳)、それは妻にとっても人生の大きな節目。その後の10万時間をどう生きるのか。夫の思い、妻の願いを浮き彫りにしながら人生充実のこころ構えをわかりやすくお話してくれました。

○2014年11月2日(日)

ヒロロ4階ホール
主催 NPO法人青森県男女共同参画研究所
共催 ヒロロスクエアコミュニケーションゾーン運営協議会
上野千鶴子さんによる
ブックトーク 開催
「当事者主権」予定

～事業収支予算書について～

事業収支予算書		
事業名	お祭りお楽しみ会	
収入		
項目	予算額	説明
運営経費全額負担	396,000	
参加料	200,000	$500 \times 50人 \times 6 \text{回} + 500 \times 30人 + 700 \times 50人$
計	596,000	
支出		
項目	予算額	説明
講師謝礼金	200,000	$30,000 \times 2人 + 20,000 \times 2人 + 310,000 \times 1人$
講師謝礼金	274,000	受講費 214,000 管理費 60,000
会場費	10,000	$500 \times 50 \text{回} \times 2人$ (会場)
教材料	50,000	$500 \times 50 \times 4人 \times 5 \text{回}$
雑費	24,000	
計	596,000	

予算をたてても、いろんなお金が発生するので、決算で大きな違いが出てくる時がある。その時は、随時確認して調整する。

事業収支報告書				
項目	予算額	決算額	増減	説明
収入				
運営経費全額負担	396,000	396,000	0	
参加料	200,000	190,000	△10,000	お祭りお楽しみ会 50人 × 6回 × 500円 = 1,500,000円 お祭りお楽しみ会 30人 × 500円 = 15,000円 お祭りお楽しみ会 50人 × 700円 = 35,000円 計 1,700,000円
計	596,000	486,000	△110,000	
支出				
講師謝礼金	200,000	200,000	0	お祭りお楽しみ会 200,000円
講師謝礼金	274,000	274,000	0	受講費 214,000円 管理費 60,000円
会場費	10,000	10,000	0	お祭りお楽しみ会 50回 × 2人 × 500円 = 50,000円
教材料	50,000	50,000	0	お祭りお楽しみ会 50回 × 50人 × 4人 × 500円 = 5,000,000円
雑費	24,000	14,200	△9,800	お祭りお楽しみ会 24,000円
計	596,000	548,200	△47,800	
収入の累計	596,000	486,000	△110,000	
支出の累計	596,000	548,200	△47,800	

～ヒロロでハロウィン体験～

親子で一緒に
ハロウィン体験1.2.3!
10/23(水)
外国人と一緒にハロウィン体験してみよう!
Happy HALLOWEEN
Trick or Treat
1. ハロウィン・ゲーム
2. 外国人が踊る「ハロウィン踊り」の体験
3. 英語でジャンケン/Rock/Scissors/Paper/1,2,3! 一斉お楽しみ会あり

時間：10/23(水) 13:30～17:30
場所：ヒロロ3階 セミナー・ハンサムウーマン
参加費：0円～1人(随時受付)
定員：30名程度(お申し込み次第)
申込料：無料

事務局：事務局
[TEL] セミナー・ハンサムウーマン (090-2608-7018 FAX) 39-9476

未就学の親子40組が参加。

～男女共同参画ネットワーク・津軽広域について～

男女共同参画ネットワーク・津軽広域

- 2007年1月設立
- 目的：津軽広域管内8市町村(弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村)で、男女共同参画に関わる団体及び個人の連絡調整・協働を効果的に推進していくこと。
- 構成員：この目的に賛同する団体及び個人についても参加できる。
- 事業
 - 1) 団体及び個人間の連絡調整・協働に関すること。
 - 2) 市町村担当者ネットワーク会議との連絡調整に関すること。
 - 3) 会に係る情報提供に関すること。
 - 4) その他会の目標達成のために必要な事項に関すること。
- 組織：代表1名、副代表1名、会計1名、監事2名、事務局、会員
代表及び副代表の任期は1年・代表は担当団体長・副代表は次回代表
2007年 黒石市・2008年 弘前市・2009年 平川市
2010年 板柳町・2011年 黒石市・2012年 弘前市
2013年 平川市・2014年 大鰐町の予定
会費：年1,000円 担当団体

参加団体

- NPO法人 青森県男女共同参画研究所
- きらめき会
- 情報ネットワークグループ「リエゾン」
- セミナー・ハンサムウーマン
- つながれとサロン
- シンフォニー「成年後見制度を考える会」
- 黒石ハーモニーの会
- 平川市連合婦人会
- ふれあいメッセひらか
- 大鰐町連合婦人会
- 板柳町女性団体連絡協議会
- 個人 9名

市町村担当者ネットワーク会議

○ 2005年10月 男女共同参画市町村ネットワークに係担当者の会議 スタート

< 黒石市・弘前市の担当者からの課題解決に向けた主体的な取り組み事例 >

1. 黒石市企画課まちづくり推進係主催
「男女共同参画のまち」くろいし 未来塾
協働団体「黒石ハーモニーの会」
2. 弘前市民参画センター 男女共同参画社会の推進拠点
ステップアップ講座 開催
委託団体「NPO法人青森県男女共同参画研究所」

<課題を共有>

1. 各市町村がそれぞれに課題をかかえていた
男女共同参画の視点をもつことへの理解と社会参画を促すこと
2. 活動団体の組織・活動の活性化
3. 担当者の人事異動
4. 連絡調整・情報交換の会議 と 活動団体のネットワークの必要性

～出会い・つながった人たちとのプロジェクト～

出会い つながった人たちとのプロジェクト

2007年9月 「国際子ども文化芸術交流実行委員会」設立
国際子ども文化芸術交流Junior Artist Festival 開催
主旨

1. 世界各国の子ども達と日本の子ども達が文化・芸術活動を 通して、
お互いの理解を深め、地球は一つ、世界は一つ、友だちの輪を広める
 2. 子ども達が明るく健やかに成長することは人類共通の願いであり、
ステージを通して 貴重な経験を積み、自己を確立、行動に責任を持ち、
未来を担う 若い「翼」達に、大きく羽ばたいて欲しい
 3. 弘前市・青森県の子ども達の文化発展と芸術による国際交流を目的とする
- 第1回(2009年7月) 韓国果川市清溪初等学校との文化芸術交流
 - 第2回(2010年7月) 三沢少年少女合唱隊・アメリカンファミリーとの交流
(まち・きらきらセミナー1期生とのつながりから)
 - 第3回(2012年7月)インドネシアバリ島ノバドワン市との文化芸術交流
(各助成金と協賛金・翼基金活用)
 - 第4回(2013年9月)ウツテナヤ子影絵公演(保育園・小学校の芸術鑑賞教室開催)

今年は台湾と交流予定。

～最後に～

1. ネットワークを活かした活動が必要

ヒト、モノ、カネの壁にぶつかったときは、ネットワーク！
男女共同参画やNPO活動、市民活動などのいろいろな
分野とのネットワークで、点から線へ、そして強い面に

2. やる気や継続意欲を高めるコミュニケーション力

3. つ・な・が・る 楽しさを

- ミッション(できることをやる)を大切に
- パッション(まちへの情熱)をもちつづけ
- 仲間たちと対等・平等な関係を築きながら
- 柔軟な対応と進化していくための工夫を学び
- 出会い、つながり、動きだすことを、楽しく続けていくこと

ネットワークをどんどん使いたしよ
う。コミュニケーション力がないと継
続しない。情熱を持ち続けることが大
切。活動する際は仲間たちと常に対等、
平等。頭を柔軟にしましょう。出会い
やつながり、動き出すことを楽しく続
けていきましょう。

次回はグループにわかれて、実際に進めていくためにはどうしたらいいのかを考える。お金
は必要になるので、助成金を利用して活動していきましょう。自分たちの思い、目的をしっか
りもち、対象を考え、来月までに形になるものを少し考えてきてください。8月4日最後の日
は、予算とプレゼンの練習までいけるといいなと思います。

◆閉会◆

◆事務局からの連絡事項◆

次回のきらきらセミナーは6月20日(金)18時から20時までで、市民活動ネットワー
クセンターみさわ、大会議室で行います。

◆最後にアンケート回収◆

以上、平成26年5月30日(金)開催の「第1回まち・きらきらセミナー」の概要報告といたします。